

# 2023 秋

## 《伝道礼拝へのお招き》

10月の伝道月間のテーマは「永遠」です。少々難しいテーマと取り組みます。

「有限」な存在である私たち人間にとって、それはとても把握しきれない概念です。聖書の世界では人は、「永遠」に出会うたびに「私は滅びるばかりです」と、大きな畏れにとらわれています。「永遠」と「有限」は質的に全く違うのです。目先の「有限」なものばかりに目を奪われがちな私たち現代人ですが、「永遠」の方が私たちに出会ってくるのです。

実はこの「永遠」観こそが、聖書の世界と周辺世界とで全く違ってきます。絶対唯一神を信ずる信仰と、多神教の信仰の違いかもしれません。聖書以外の世界ではついつい「永遠」を「無時間性」のように感じてしまいがちですが、聖書の世界では「永遠」と「時間」、「永遠」と「有限」な私たちは出会い、切り結ぶのです。「永遠」の「無時間」化というのは、「有限」な人間の手の内に収めようとする一種の「合理化」です。しかし聖書の語る「永遠」は、冷たい石に刻んだ法則や運命のようなものでなく、もっと人格的存在です。

「永遠」の方が私たちの歴史に突入し、関わってくるのです。聖書以外の世界では時間の延長線上に「永遠」が存在するかのように錯覚しますが、聖書の世界では「永遠」と「有限」はきっぱりと違います。しかも「永遠」との出会いは修行の果ての「悟り」のような形でなく、「永遠」の方から私たちに出会い、迫ってくるのです。

この3月まで西片町教会牧師として牧会しておられた山本裕司牧師の説教を中心に、3回にわたって、聖書を通して「永遠」に耳を傾けましょう。

**10月8日(日) 伝道礼拝 午前10時30分～**

**「終わらない愛の奇跡」** 元西片町教会牧師 **山本 裕司**

やまもと ゆうじ



日本基督教団無任所（荻窪教会出席）教師

東京神学大学大学院修了後、1982年日本基督教団四国教区に派遣され12年間伝道した後、1994年に東京の西片町教会に転任して28年間伝道した。

著書に『大洲教会百年史Ⅰ 流れのほとりに植えられた木 1885-1928』、『キリストの復活 レントからイースターへ 教会暦による説教集』（キリスト新聞社 編、著）、『信仰生活ガイド 使徒信条』（日本キリスト教団出版局 共著）などがある。

10月15日(日) 伝道礼拝 午前 10 時 30 分～

「永遠を思う心」

荻窪教会牧師 <sup>こかい</sup> 小海 <sup>もとい</sup> 基



東北学院大学キリスト教学科、東京神学大学大学院修了、  
当荻窪会牧師に就任。1989年～1991年イーデン神学校留学。  
農村伝道神学校講師。小諸いずみ会「いのちの家 LETS」理事長。  
『こどもさんびか』の作曲、『讚美歌 21』編集、著書に『聖餐  
イエスのいのちを生きる』（新教 出版社 共著）、『牧師とは何か』  
（日本キリスト教団出版局 共著）などがある。

10月22日(日) 伝道礼拝 午前 10 時 30 分～

「永遠の命に至る水」

荻窪教会副牧師 <sup>りゅうぐち</sup> 龍口 <sup>なりこ</sup> 奈里子



関西学院大学大学院修了後、塚口教会担任教師。  
1985年～ 東京女子大学キリスト教センター宗教主事。  
1993年～ 当荻窪教会副牧師。



11月4日(土) 13時～ 荻窪音楽祭 入場無料

- ・ 兼氏規雄他アンサンブル  
モーツァルト「クラリネット協奏曲イ長調 K.622」  
G. プッチーニ「弦楽四重奏曲 菊」
- ・ 新小岩カルテット メンデルスゾーン「弦楽四重奏曲第 4 番ホ短調」  
より
- ・ 女声アンサンブル プリエール スタバト・マーテルから 5 曲
- ・ リドしおん(声楽アンサンブル) W・バードによる声楽曲ほか  
(詳しくは荻窪音楽祭の冊子をご覧ください。)